

グロリア・スワンソン

Gloria Swanson

生年月日 1897/03/27

出身地 アメリカ／イリノイ州シカゴ

没年 1983/04/04

関連人物 ウォーレス・ビアリー（元夫）

【バイオグラフィ】

■本名はGloria Josephine May Swenson。父は陸軍大尉で、仕事柄フロリダやプエルトルコなどを転々として育つ。14歳の時の叔母に連れられエッサネイ社のスクリーン・テストに合格。その6ヶ月後にはハリウッドへ赴きマック・セネットと共に“海水着美女”として多くの作品に出演。17年にはトライアングル社に移る。その後セシル・B・デミルに認められ「夫を変へる勿れ」を皮切りに瞬く間にスターの仲間入りを果たし、25年の「ありし日のナポレオン」ではフランス滞在中、ホテルのワン・フロア総てを借り切ったほど。翌年には週給2万ドルという驚異的な出演料を獲得した。徹底した菜食主義を貫き、野菜の支払いだけで月1000ドルを越えたなど、さまざまなゴシップが毎日のように新聞に載ったという。26年には独立プロを設立。「港の女」、「トレスパッサー」でアカデミー主演賞候補となった。しかし次第に人気低迷。事業にも手を出しながらも映画や舞台に出演し続けたが結局成功はしなかった。が、48年にTVショーに出演した彼女を見たビリー・ワイルダーが、あの「サンセット大通り」に招き入れ、3度目のアカデミー候補になる。その後74年の「エアポート'75」で再び復活するなど、最後までスターへの執着を忘れなかった女優であった。結婚はウォーレス・ビアリーなどと計6回。83年、老衰のために死亡した。

【フィルモグラフィ】

エアポート'75 (1974)	出演 : グロリア・スワンソン
恐怖の殺人蜜蜂 (1974)	出演 : マリア・ヴァン・ボーレン
わが息子暴君ネロ (1956)	出演
サンセット大通り (1950)	出演 : ノーマ・デズモンド
空飛ぶ音楽 (1934)	出演
完全な諒解 (1933)	出演
今宵ひととき (1931)	出演
陽気な後家さん (1930)	出演
恋愛即興詩 (1930)	出演
トレスパッサー (1929)	出演
クィーン・ケリー (1929)	出演
港の女 (1928)	出演
五つの魂を持つ女 (1927)	出演
野薔薇 (1926)	出演
女王蜂 (1926)	出演
当り狂言 (1925)	出演
ありし日のナポレオン (1925)	出演
女心 (1925)	出演
焰の女 (1924)	出演
彼女の恋の物語 (1924)	出演

兵営に咲く花 (1924)	出演
蜂雀 (1924)	出演
翔られ者 (1924)	出演
大陸に鳴る女 (1923)	出演
放埒娘 (1923)	出演
幸福の扇 (1923)	出演
舞姫ザザ (1923)	出演
獣身を逃れし女 (1922)	出演
巨巖の彼方 (1922)	出演
黄金の籠 (1922)	出演
白絹の女 (1922)	出演
言はぬが花 (1921)	出演
アナトール (1921)	出演
何故妻を換へる? (1920)	出演
人間苦 (1920)	出演
瞬間の瞬間 (1920)	出演
連理の枝 (1919)	出演
夫を変へる勿れ (1919)	出演
男性と女性 (1919)	出演
社交界 (1918)	出演
犬の計ひ (1917)	出演
汽車中の花嫁 (1917)	出演
恋の花火 (1916)	出演
雨中の逃亡 (1916)	出演
ボビーの危難 (1916)	出演
借り子 (1916)	出演
チャップリンの役者 (1915)	出演